

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年8月11日
【四半期会計期間】	第41期第2四半期（自平成26年4月1日至平成26年6月30日）
【会社名】	クリエートメディック株式会社
【英訳名】	CREATE MEDIC CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 佐藤 正浩
【本店の所在の場所】	神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎南二丁目5番25号
【電話番号】	(045)943-2611(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役管理統括部長 橋井 敦
【最寄りの連絡場所】	神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎南二丁目5番25号
【電話番号】	(045)943-2611(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役管理統括部長 橋井 敦
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

## 第1【企業の概況】

## 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第40期 第2四半期連結 累計期間	第41期 第2四半期連結 累計期間	第40期
会計期間	自 平成25年 1月1日 至 平成25年 6月30日	自 平成26年 1月1日 至 平成26年 6月30日	自 平成25年 1月1日 至 平成25年 12月31日
売上高 (千円)	4,808,457	4,636,301	9,880,617
経常利益 (千円)	414,354	369,129	953,073
四半期(当期)純利益 (千円)	271,733	275,455	533,628
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	721,360	86,234	1,221,215
純資産額 (千円)	12,015,769	12,265,075	12,361,568
総資産額 (千円)	17,590,137	17,031,615	17,443,761
1株当たり四半期(当期)純利益 金額 (円)	28.26	28.64	55.49
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	68.3	72.0	70.9
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	553,976	659,459	951,028
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	205,727	73,099	613,716
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	183,100	440,975	444,467
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	3,195,280	3,210,494	2,953,638

回次	第40期 第2四半期連結 会計期間	第41期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自 平成25年 4月1日 至 平成25年 6月30日	自 平成26年 4月1日 至 平成26年 6月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	21.11	24.64

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社および当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

なお、当第2四半期連結会計期間において、東南アジアへの販売進出の中核拠点として、ベトナム・ホーチミン市に販売子会社を設立(平成26年5月)しております。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1)業績の状況

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、積極的な経済政策や金融政策により企業収益や設備投資等が回復し、消費税増税前の駆け込み需要により個人消費が増加するなど、全体的に緩やかな回復基調となりました。

医療機器業界におきましては、現政権の成長戦略として、薬事法改正や医療・介護の関連法案が整備されつつあり、慢性期・在宅といった新たな需要拡大も見込まれますが、足下の状況としては医療費抑制策である公定価格の改定や企業間競争もあり、依然として厳しい状況が続いております。

このような環境の中、当社グループは、本年度からスタートした中期経営計画に基づき、国内では慢性期医療への本格参入と新規OEMの獲得、海外では東南アジア市場への販売進出に着手し、国内外における販売体制の構築と営業活動に注力いたしました。

これらの活動により、売上高は、海外販売が中国を中心に順調な滑り出しを遂げましたが、国内の自社販売およびOEM販売が減少し、全体も前年を下回る結果となりました。利益につきましては、海外工場での部資材内製化により引き続き原価低減を図るとともに、販売管理費の抑制にも努めてまいりましたが、売上高の不足を吸収できず、経常利益が減少となる厳しい結果となりました。

なお、一部資産の売却に伴う税金費用の減少により、四半期純利益では増益となっております。

以上により、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高4,636百万円（前年同期比3.6%減）、経常利益369百万円（前年同期比10.9%減）、四半期純利益275百万円（前年同期比1.4%増）となりました。

販売形態別の販売状況は、次のとおりであります。

#### < 自社販売 >

自社販売は、泌尿器系のフォーリートレイキットが伸長し、外科系の気管切開チューブもシリコーンの独自性が評価され伸長しましたが、消化器系製品の公定価格改定および企業間競争による伸び悩みや、血管系の一部不採算品目の見直しによる減少で、3,116百万円（前年同期比3.2%減）となりました。

#### < OEM販売 >

OEM販売は、全系統ともほぼ横ばいに推移しましたが、血管造影製品が供給先の生産調整により一時的に減少し、772百万円（前年同期比13.7%減）となりました。

#### < 海外販売 >

海外販売は、中国販売が泌尿器系を中心に引き続き好調に推移し、また、欧州向けの泌尿器系・消化器系製品が在庫調整の反動で受注回復したことにより、747百万円（前年同期比7.6%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比較して412百万円減少し、17,031百万円となりました。これは、受取手形の減少108百万円、商品及び製品の減少157百万円、建物の減少136百万円、有価証券の償還99百万円が主な要因です。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して315百万円減少し、4,766百万円となりました。これは、短期借入金の減少145百万円や未払法人税等の減少165百万円が主な要因です。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して96百万円減少し、12,265百万円となりました。これは、利益剰余金の増加92百万円、為替換算調整勘定の減少189百万円が主な要因です。

(3) キャッシュ・フローの状況

単位：百万円

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月30日 至平成26年6月30日)	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	553	659	105
投資活動によるキャッシュ・フロー	205	73	278
財務活動によるキャッシュ・フロー	183	440	257
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,195	3,210	15

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は659百万円となりました。これはその他の流動負債の増加92百万円及び法人税等の支払254百万円の減少に対して、税金等調整前四半期純利益369百万円、減価償却費155百万円、売上債権の減少139百万円、及びたな卸資産の減少140百万円などによる資金の増加が主な要因です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果増加した資金は73百万円となりました。これは定期預金の預入による支出124百万円に対し、有価証券の償還による収入200百万円による資金の増加が主な要因です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は440百万円となりました。これは配当金の支払額183百万円、短期借入金の返済による支出145百万円及び長期借入金の返済による支出104百万円の減少が主な要因です。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における当社グループ全体の研究開発活動の金額は、123百万円となっております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

## 第3【提出会社の状況】

## 1【株式等の状況】

## (1)【株式の総数等】

## 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	30,000,000
計	30,000,000

## 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成26年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成26年8月11日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	9,664,327	9,664,327	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	9,664,327	9,664,327	-	-

## (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

## (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

## (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

## (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成26年4月1日～ 平成26年6月30日	-	9,664,327	-	1,461,735	-	1,486,022

## (6)【大株主の状況】

平成26年6月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%)
つづき企画株式会社	横浜市都筑区池辺町7001-8	1,454	15.05
中尾 廣政	相模原市南区	874	9.05
公益財団法人中尾奨学財団	横浜市緑区十日市場町885-17	600	6.21
株式会社横浜銀行	横浜市西区みなとみらい13-1-1	422	4.37
中尾 政嗣	相模原市南区	251	2.60
竹田 和平	名古屋市天白区	250	2.59
株式会社北海道銀行	札幌市中央区大通西4-1	211	2.19
明治安田生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内2-1-1	211	2.19
笠原 正孝	東京都目黒区	208	2.16
相川 文雄	東京都町田市	170	1.76
計	-	4,653	48.15



## (7)【議決権の状況】

## 【発行済株式】

平成26年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 47,900	-	単元株式数100株
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,606,100	96,061	同上
単元未満株式	普通株式 10,327	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	9,664,327	-	-
総株主の議決権	-	96,061	-

(注)「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式69株が含まれております。

## 【自己株式等】

平成26年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
クリエートメディック株式会社	横浜市都筑区茅ヶ崎南二丁目5番25号	47,900	-	47,900	0.50
計	-	47,900	-	47,900	0.50

## 2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年1月1日から平成26年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	3,420,350	3,801,244
受取手形及び売掛金	3,415,711	3,022,352
電子記録債権	59,460	301,350
有価証券	400,012	300,033
商品及び製品	1,661,945	1,504,741
仕掛品	539,531	529,253
原材料及び貯蔵品	639,107	609,247
繰延税金資産	122,836	137,988
その他	117,586	150,357
貸倒引当金	1,000	1,000
<b>流動資産合計</b>	<b>10,375,541</b>	<b>10,355,568</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	2,276,501	2,138,561
機械装置及び運搬具(純額)	796,133	725,654
土地	2,022,313	1,986,650
リース資産(純額)	22,233	14,015
建設仮勘定	16,231	11,090
その他(純額)	163,954	151,516
<b>有形固定資産合計</b>	<b>5,297,368</b>	<b>5,027,488</b>
<b>無形固定資産</b>		
借地権	177,331	166,407
その他	25,106	22,744
<b>無形固定資産合計</b>	<b>202,437</b>	<b>189,151</b>
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	1,107,438	1,007,538
繰延税金資産	376,370	367,244
その他	84,605	84,623
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>1,568,413</b>	<b>1,459,406</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>7,068,219</b>	<b>6,676,046</b>
<b>資産合計</b>	<b>17,443,761</b>	<b>17,031,615</b>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,699,044	749,493
短期借入金	1,045,000	900,000
1年内返済予定の長期借入金	210,780	202,600
リース債務	17,052	14,707
未払法人税等	241,030	75,719
賞与引当金	25,803	32,967
役員賞与引当金	12,900	6,895
その他	576,336	668,784
流動負債合計	2,827,948	2,651,168
固定負債		
長期借入金	937,730	807,800
リース債務	6,292	-
退職給付引当金	1,095,791	1,122,867
役員退職慰労引当金	202,207	172,448
資産除去債務	3,047	3,081
長期末払金	9,175	9,175
固定負債合計	2,254,244	2,115,371
負債合計	5,082,193	4,766,540
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,461,735	1,461,735
資本剰余金	1,486,022	1,486,022
利益剰余金	8,733,673	8,826,417
自己株式	34,677	34,693
株主資本合計	11,646,753	11,739,481
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	62,421	62,252
為替換算調整勘定	652,393	463,341
その他の包括利益累計額合計	714,814	525,593
純資産合計	12,361,568	12,265,075
負債純資産合計	17,443,761	17,031,615

## ( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	4,808,457	4,636,301
売上原価	2,640,539	2,574,305
売上総利益	2,167,918	2,061,996
販売費及び一般管理費	1,177,040	1,679,179
営業利益	392,878	382,816
営業外収益		
受取利息	6,213	6,674
受取配当金	2,273	2,470
為替差益	16,309	-
その他	11,462	10,555
営業外収益合計	36,258	19,700
営業外費用		
支払利息	7,655	6,584
為替差損	-	22,147
その他	7,128	4,656
営業外費用合計	14,783	33,388
経常利益	414,354	369,129
税金等調整前四半期純利益	414,354	369,129
法人税、住民税及び事業税	173,458	99,973
法人税等調整額	30,838	6,300
法人税等合計	142,620	93,673
少数株主損益調整前四半期純利益	271,733	275,455
四半期純利益	271,733	275,455

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	271,733	275,455
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27,695	168
為替換算調整勘定	421,930	189,051
その他の包括利益合計	449,626	189,220
四半期包括利益	721,360	86,234
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	721,360	86,234
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	414,354	369,129
減価償却費	140,547	155,055
賞与引当金の増減額(は減少)	1,521	7,164
役員賞与引当金の増減額(は減少)	6,200	6,004
退職給付引当金の増減額(は減少)	24,228	27,653
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	8,774	29,759
受取利息及び受取配当金	8,486	9,144
支払利息	7,655	6,584
為替差損益(は益)	23,223	2,730
売上債権の増減額(は増加)	2,202	139,506
たな卸資産の増減額(は増加)	238,580	140,443
仕入債務の増減額(は減少)	152,895	49,595
未払消費税等の増減額(は減少)	13,211	3,472
その他の流動資産の増減額(は増加)	10,178	35,741
その他の流動負債の増減額(は減少)	115,762	92,250
その他	4,036	5,144
小計	665,324	911,134
利息及び配当金の受取額	8,685	9,388
利息の支払額	7,624	6,503
法人税等の支払額	112,409	254,560
営業活動によるキャッシュ・フロー	553,976	659,459
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	47,200	124,037
有価証券の償還による収入	-	200,000
有形固定資産の取得による支出	150,440	26,260
有形固定資産の売却による収入	-	36,203
無形固定資産の取得による支出	264	8,272
投資有価証券の取得による支出	600	601
その他	7,222	3,931
投資活動によるキャッシュ・フロー	205,727	73,099
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	-	145,000
長期借入金の返済による支出	-	104,155
ファイナンス・リース債務の返済による支出	10,234	8,617
配当金の支払額	172,761	183,187
その他	104	16
財務活動によるキャッシュ・フロー	183,100	440,975
現金及び現金同等物に係る換算差額	132,496	34,726
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	297,644	256,856
現金及び現金同等物の期首残高	2,897,635	2,953,638
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,319,528	1,321,049

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(1) 連結の範囲の重要な変更

当第2四半期連結会計期間より、新たに設立したベトナムクリエートメディック国際貿易有限会社を連結の範囲に含めております。

(四半期連結貸借対照表関係)

- 1 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。  
 なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形が、連結会計年度末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
受取手形	97,418千円	
支払手形	149,673	

(四半期連結損益計算書関係)

- 1 販売費及び一般管理費の主な費目及び金額

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
給料手当	766,431千円	749,003千円
賃借料	87,671	85,748
賞与引当金繰入額	21,612	21,127
役員賞与引当金繰入額	6,200	6,450
退職給付費用	49,469	39,368
役員退職慰労引当金繰入額	8,774	8,940

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
現金及び預金勘定	3,171,182千円	3,801,244千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金等	285,901	590,750
有価証券勘定	310,000	-
現金及び現金同等物	3,195,280	3,210,494



(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年6月30日)

1. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年3月28日 定時株主総会	普通株式	173,100	18	平成24年12月31日	平成25年3月29日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間  
 末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年8月5日 取締役会	普通株式	153,865	16	平成25年6月30日	平成25年9月9日	利益剰余金

(注) 1株当たり配当額には記念配当1円が含まれております。

当第2四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年6月30日)

1. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年3月28日 定時株主総会	普通株式	182,711	19	平成25年12月31日	平成26年3月31日	利益剰余金

(注) 1株当たり配当額には記念配当1円が含まれております。

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間  
 末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年8月6日 取締役会	普通株式	153,861	16	平成26年6月30日	平成26年9月8日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年6月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年6月30日)

当社グループはディスプレイカテテル・チューブの製造・販売を主な事業とした単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	28円26銭	28円64銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	271,733	275,455
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	271,733	275,455
普通株式の期中平均株式数(株)	9,616,643	9,616,363

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

第41期（平成26年1月1日から平成26年12月31日まで）中間配当については、平成26年8月6日開催の取締役会において、平成26年6月30日の最終の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	153,861千円
1株当たりの金額	16円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成26年9月8日

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年 8月11日

クリエートメディック株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 三浦 洋輔 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 柴田 叙男 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているクリエートメディック株式会社の平成26年1月1日から平成26年12月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年1月1日から平成26年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、クリエートメディック株式会社及び連結子会社の平成26年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。  
2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。